

授業科目名 <英訳>	社会学（演習） Sociology (Seminars)	担当者氏名	文学研究科 准教授 太郎丸 博						
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	金2	授業形態	演習
題目	社会階層論を通して学ぶ社会学研究法								
【授業の概要・目的】									
<p>専門家として高度な知識とスキルを身につけ、優れた論文を書けるようになるためには、社会学者としての基礎的なスキルを身につける必要がある。特に読書、先行研究の系統的整理、そしてそのような知識を背景とした独自の問題設定とデータ収集・分析といった作業は、社会学のあらゆる分野に通底する重要なプロセスである。前期の授業では、社会階層論を例にこのような作業を一通り行うことで、社会学者としての基礎的なスキルの修得を目指す。</p> <p>後期の授業では、講読とそれをもとにした実際のデータ分析を行う。具体的なテーマは未定であるが、社会現象が、ローカルな制度的/歴史文化的コンテクストによってどのように影響されるのかについて分析する予定である。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>前期</p> <p>第1週 優れた原著論文の条件</p> <p>第2週 原著論文の基本構造</p> <p>第3-4週 日本語論文の要約</p> <p>第5-6週 日本語（単行本）の要約</p> <p>第7-9週 英語論文の要約</p> <p>第10-11週 論文の探索</p> <p>第12-13週 レビュー論文の講読</p> <p>第14-15週 レビュー論文の作成</p> <p>後期（講読のテーマは変更の可能性あり）</p> <p>第1週 読書と生産的な研究テーマの探索</p> <p>第2-3週 講読1: 世界都市と社会的不平等</p> <p>第4-5週 講読2: 脱工業化と不安定就労の増加</p> <p>第6-7週 講読3: 階層構造の国際比較</p> <p>第8週 研究テーマとデータの入手可能性</p> <p>第9週 データの収集</p> <p>第10週 データの入力</p> <p>第11週 データのクリーニング</p> <p>第12-13週 データの分析</p> <p>第14-15週 レポート作成</p>									
【履修要件】									
<p>専門社会調査士H, I科目の単位をすでに修得しているか、今年度修得見込みであること。また、日本語に堪能で、英語も読めること。</p>									
----- 社会学（演習）(2)へ続く -----									

社会学（演習）(2)

【成績評価の方法・基準】

出席(25%)、宿題(25%)、レポート(50%)

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））

日本の社会学の平均的な演習と比べると、読書や宿題、レポートなどの課題が多いと考えられるので、自宅学習のために十分な時間をとるように。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。